

メールアドレスの流出事故について

令和4年12月5日、「やつしろ国際協会」の事務局である市国際課職員から会員宛に国際交流イベントのお知らせメールを一斉送信した際、個人のメールアドレスが他者(会員)に流出する事故が発生しました。

本件について、個人情報 の適正な管理を行うべきところ、このような事態を招いたことを深く反省し、再発防止策を講じて参ります。

1. 事故の経緯と経過

令和4年12月5日、「やつしろ国際協会」の事務局である本市国際課職員が会員宛にイベント案内メールを送信する際に、BCC欄に入力すべきメールアドレスを、誤って宛先欄に入力して送信したため、当該メールアドレスが同時に送信した他者に流出する事故が発生。送信件数103件(うち企業団体会員38件、個人会員65件)

- ① 12月5日(月)午後1時44分事務局担当者が会員宛にメールを送信する際、誤って宛先欄にメールアドレスを入力して一斉送信。
- ② 同日午後2時56分メールを見た会員より、会員のメールアドレスが閲覧できる状態である旨の連絡を受ける。
- ③ 翌6日(火)10時58分会員宛にお詫びのメールを送信し、当該メールの削除を依頼。
- ④ 現在のところ苦情や二次被害の報告は受けていない。

2. 再発防止策

メールの誤送信にかかる対策について、事務局並びに職員は情報セキュリティ対策の再確認を行い、また、全職員が八代市情報セキュリティポリシーの遵守並びに、外部の複数宛先に対してメールを送る際、メールアドレス BCC 欄への入力を複数職員で確認することを徹底する。